

名古屋大学医学部附属病院 薬剤師レジデント制度5年間の概要  
(2021年～2025年)

1. 薬剤師レジデント応募者数(人数)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総数	14	15	18	7	8

2. 薬剤師レジデント採用者数(人数)

前期一般コース

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総数	7	10	9	4	6

(参考)任期付正職員の採用者数(レジデント採用者を除く)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総数	2	5	0	2	1

後期専門コース

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
前期修了者	2	4	3	3	3
後期のみ	0	0	0	0	0
総数	2	4	3	3	3

3. 競争倍率

採用者(応募者 / 任期付正職員+薬剤師レジデント(前期))にて算出

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
倍率	1.6	1.0	2.0	1.2	1.1

4. 修了者および未修了者数(人数)

前期一般コース

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
修了者	7	10	9	4	6
中断・未修了者	0	0	0	0	0
総数	7	10	9	4	6

後期専門コース

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
修了者	2	4	3	3	3
中断・未修了者	0	0	0	0	0
総数	2	4	3	3	3

(参考)後期専門コースの内訳

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
がん	0	1	1	1	1
感染制御	0	1	1	1	1
栄養サポート	1	0	0	0	0
糖尿病	0	0	0	0	0
精神科	1	1	1	0	0
薬物療法	0	1	0	1	1
総数	2	4	3	3	3

5. 修了者の進路(人数)

前期一般コース

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
名大病院	2	6	5	1	0
他の病院 <sup>1)</sup>	1	1	1	0	0
保険薬局 <sup>2)</sup>	0	0	0	0	1
大学院	0	0	0	0	1
後期研修	4	3	3	3	4
総数	7	10	9	4	6

後期専門コース

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
名大病院	2	2	3	3	2
他の病院* <sup>3)</sup>	0	1	0	0	1
保険薬局	0	1	0	0	0
総数	2	4	3	3	3

## 6. 臨床研究課題 一覧

### 2025年

#### 前期一般コース

- ・ タクロリムス1日1回製剤によるトラフ値安定化が  $\Delta$ SCr に与える影響
- ・ 中枢神経原発悪性リンパ腫に対する高用量メトトレキサート療法を導入した患者における、メトトレキサート排泄遅延に関連する因子の探索
- ・ 乳癌術後補助療法におけるアベマシクリブの服薬継続率および中止理由の実臨床データを用いた調査
- ・ 睡眠薬適正使用に向けた取り組みが入院患者の患者安全インシデントの発生へ与える影響
- ・ 全身麻酔手術施行患者を対象とした薬剤師による筋弛緩薬および麻酔導入薬の処方オーダー入力支援 (PBPM) がもたらす麻酔科医師の負担軽減効果に関する調査
- ・ クロザピン誘発性好中球減少症/白血球減少症に対する予防投与の選択肢として炭酸リチウム、アデニンの有効性および安全性を比較する後ろ向き観察研究

### 2024年

#### 前期一般コース

- ・ 腹膜透析患者における睡眠薬の使用が腹膜透析関連腹膜炎の発症に及ぼす影響
- ・ 免疫チェックポイント阻害薬投与下におけるペメトレキセド併用による腎障害のリスク因子の探索
- ・ 潰瘍性大腸炎予後に関連する栄養スコアと抗 TNF $\alpha$  抗体製剤治療反応の関連性
- ・ 肝細胞癌に対するアテゾリスマブ+ベバシズマブ併用療法における重篤な有害事象の発生リスク因子としての治療前血圧の影響

### 2023年

#### 前期一般コース

- ・ 免疫チェックポイント阻害剤 (ICI) 治療を受けた固形がん患者における遅発性の免疫関連有害事象 (irAE) の実態とその特徴に関する研究
- ・ ピペラシリン タゾバクタムの急性腎障害に関する検討
- ・ 造血幹細胞移植患者におけるタクロリムスの用量変換率に肝機能が及ぼす影響
- ・ 心不全患者に対するミネラルコルチコイド受容体拮抗薬の中止および継続に関わる因子の調査
- ・ セマグルチド錠の消化器症状による中止、維持投与量困難のリスク因子の探索
- ・ セフトリアキソンとランソプラゾールの併用が周術期の QT 間隔に及ぼす影響の検討
- ・ アテゾリスマブベバシズマブ併用療法を受けた肝細胞がん患者におけるウイルス性病因と

副作用発現との関連性

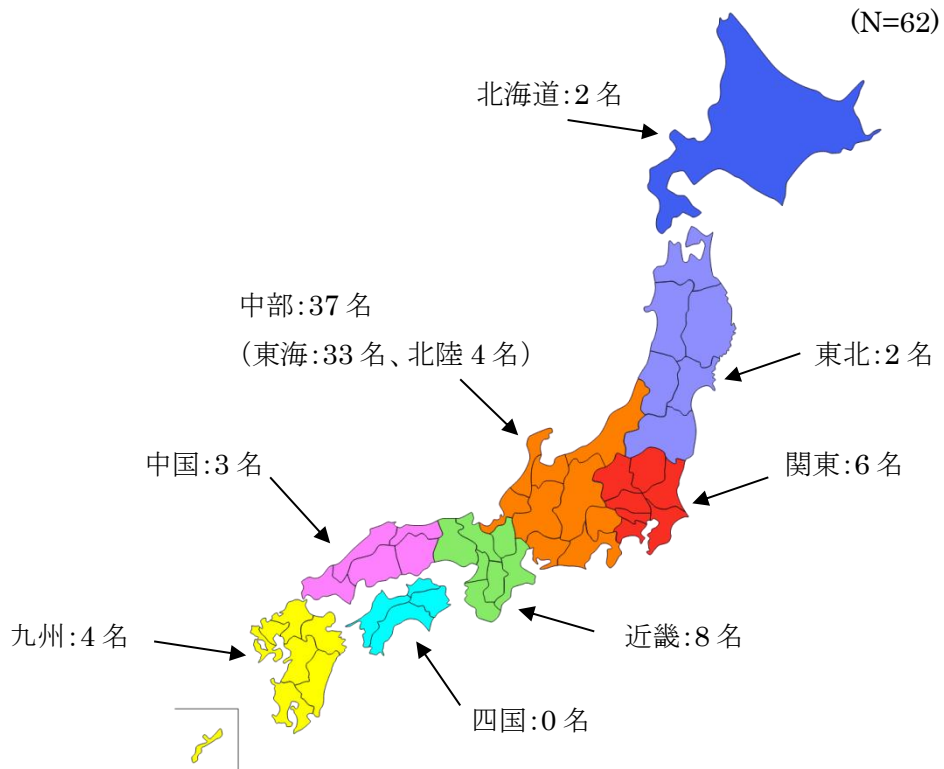
- ・ 周術期に開始された向精神薬に関する処方実態調査
- ・ 大腸がん患者における Doublets + Bevacizumab(BV)療法に対する FOLFOXIRI + BV療法的好中球減少・発熱性好中球減少症発現率に関する研究

7. レジデントが実施した臨床研究課題の学会発表(件数)

	2021年 度	2022年 度	2023年 度	2024年 度	2025年度
医療薬学会年会	-	-	1	1	4
医療薬学フォーラム	-	-	-	-	-
レジデントフォーラム	2	3	3	3	3
その他	2	4	6	5	7
合計	4	7	10	9	14

レジデントおよび当院薬剤部職員として在職中に発表した演題について、発表年度で集計

薬剤師レジデント応募者(出身大学所在地別)



薬剤師レジデント研修終了後の進路(施設所在地別)

